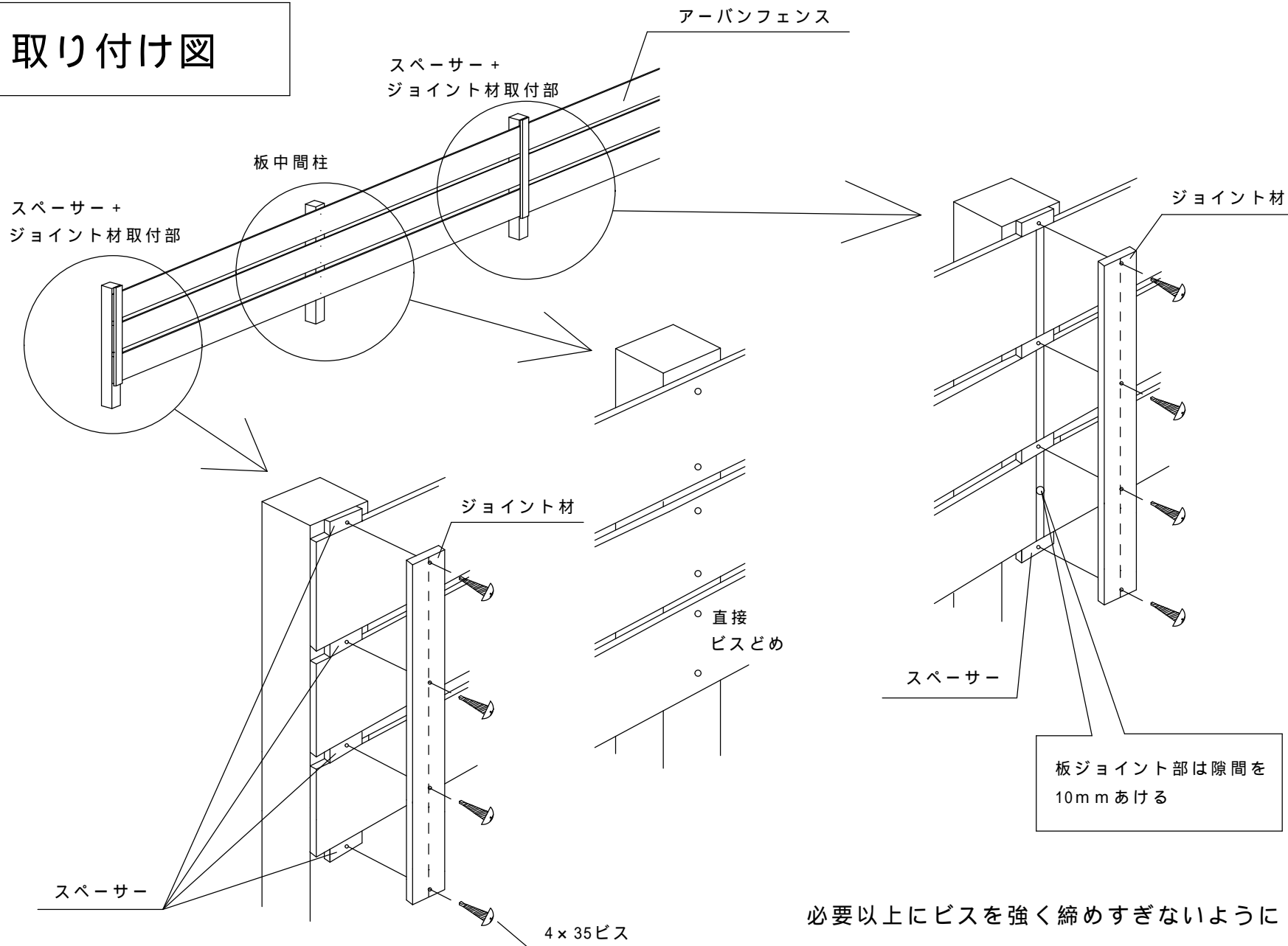


取り付け図



必要以上にビスを強く締めすぎないようにして下さい。

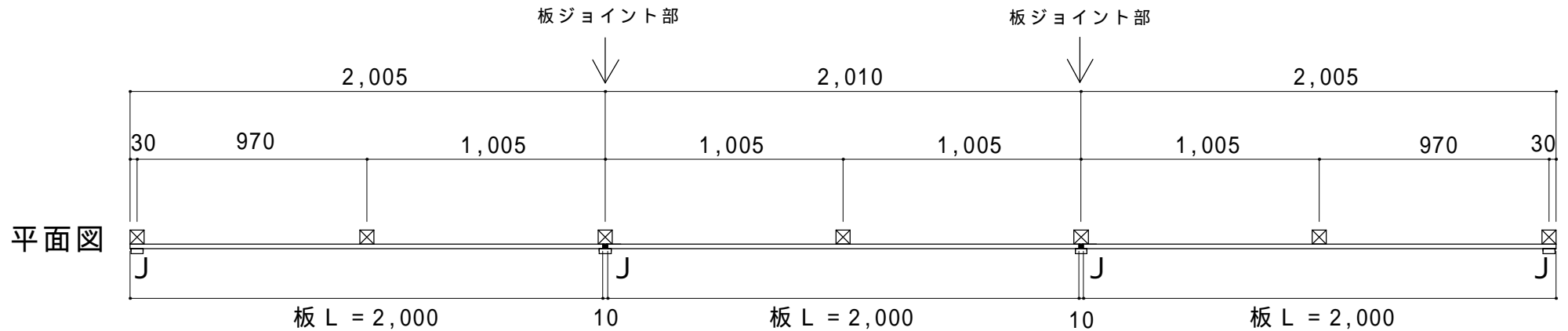
アルミ柱を立てる

説明図は、60角柱で施工の例になります。

図はアーバンフェンスを横に3枚並べる施工例です。

板ジョイント部の柱ピッチは正確に施工下さい。距離がひらきますと、板が届かなくなります。

J印の柱へ、スペーサー+ジョイント材を使用します。



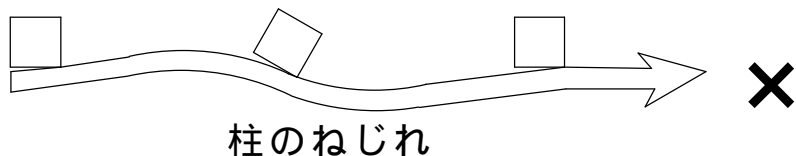
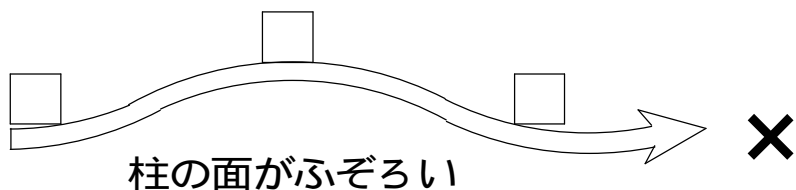
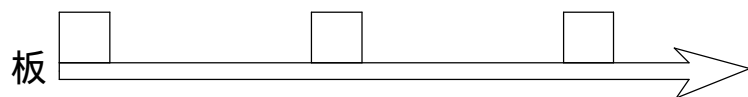
ブロック上に柱芯々2000mm（板ジョイント部～ジョイント部）で施工の場合は、板材W寸法を1990～1995mmに切り詰めして施工して下さい。

アーバンフェンスは、板段数が少ない計画でも、柱は約1m間隔で必要になります。板の跳ね出しは約200mmまでです。

注：施工後に、柱が傾きますと板材脱落のおそれがありますので、現場の状況を考慮して柱基礎工事をお願いします。

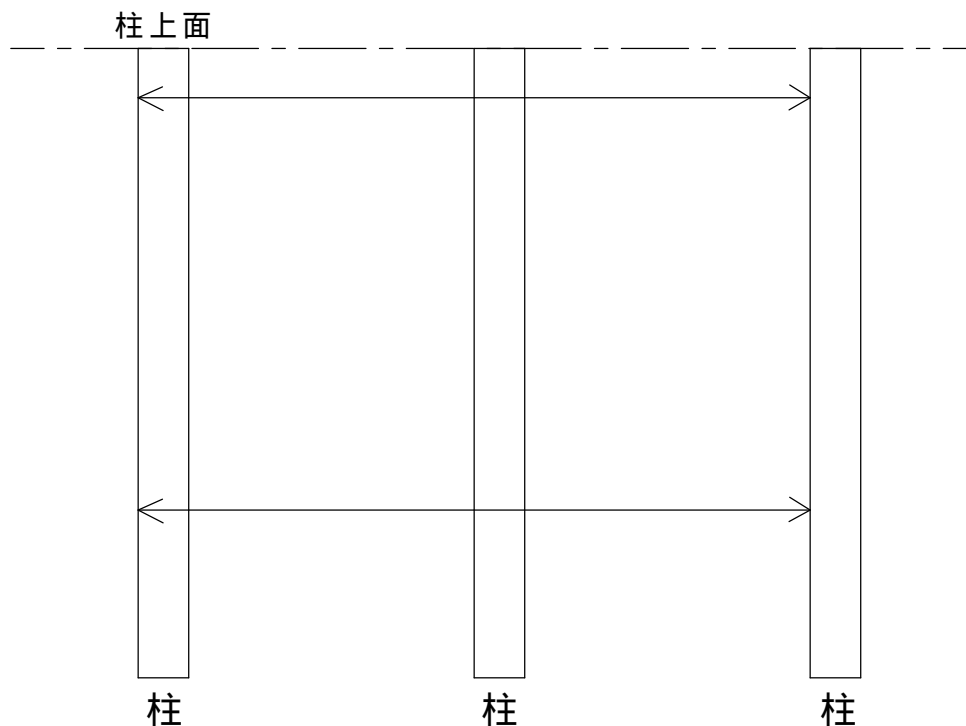
柱施工の注意

1、板の張る面を揃えて下さい。



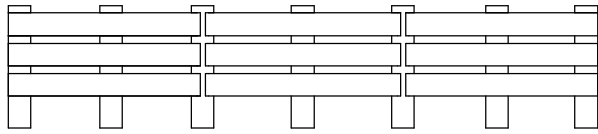
(平面図)

2、柱ピッチは、上・下2ヶ所で必ず確認下さい。
柱の高さも揃えて下さい。

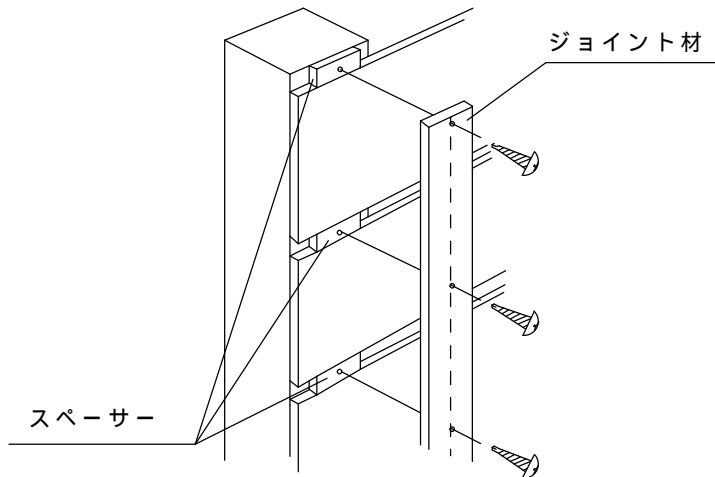


(立面図)

スペーサーの貼り方

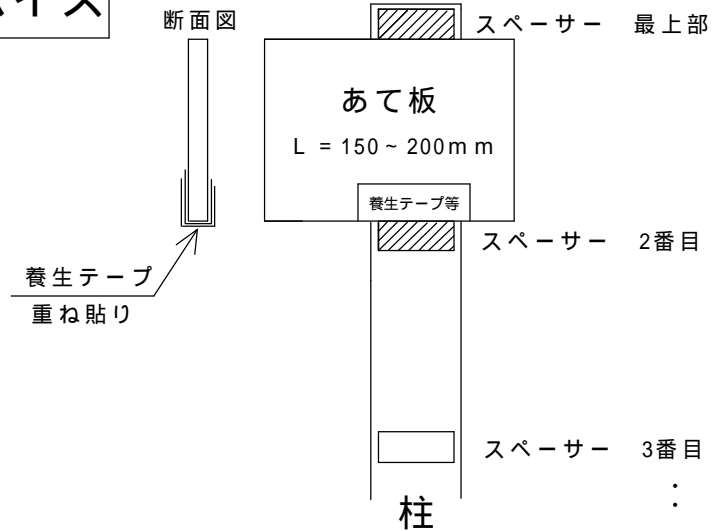


- 1、 . . . の柱にスペーサーを貼ります。
- 2、 接着テープ面をアルミ柱に貼り付けて下さい。
柱の中央へ水平に貼って下さい。
- 3、 柱最上部より貼り始めます。



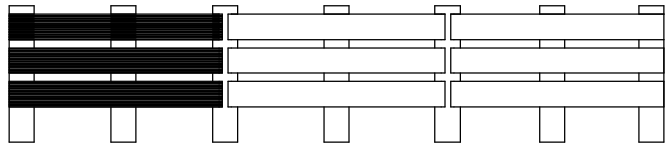
板は温度上昇で伸びます。(2000mmの板で5mm前後)
 板端部とジョイント部は、上下のスペーサーと
 ジョイント材で、板を挟み込む施工になります。
 板中間柱 . . . は、直接板へビスどめになります。

アドバイス



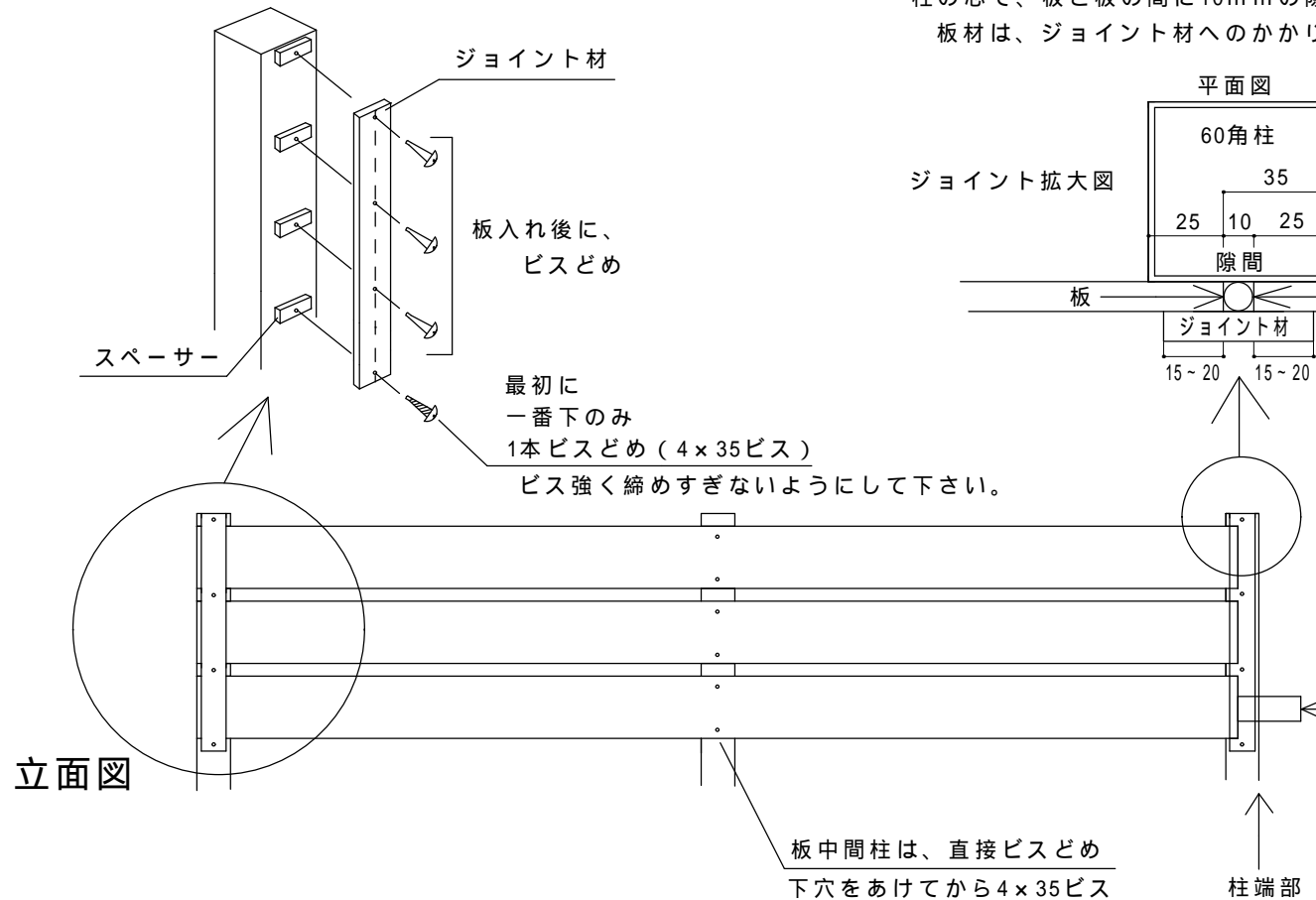
あて板(アーバンフェンスの半端材)を使うと簡単に貼れます。
 あて板の下部に、養生テープ等を1~3枚貼って使用すると、
 板幅に若干の余裕ができ、後の板入れが楽に出来ます。
 実際に入れる2mの板で横へスライドするか必ず確認下さい。
 きつい場合は、養生テープ等の枚数を追加して下さい。

板の取付方・・・1スパン目



左から板入れの施工例になります。

- 1、・・・の柱へ、ジョイント材を取り付けします。
ジョイント材の長さは、現場合わせてカット、最初に一番下のみ1本ビスどめします。
ビスは、3.2~3.3mm程度のキリで下穴をあけてから取り付けして下さい。
- 2、下段より板を入れ始めます。
段数が多い場合は、板5~6枚入れるごとに、ジョイント材途中にビスをとめます。
板を上まで入れてから、全ての箇所へビスどめします。
- 3、板中間柱へは、上段より直接ビスをとめます。
柱の芯で、板と板の間に10mmの隙間を必ずあけて下さい。
板材は、ジョイント材へのかかりとして、15~20mmは確実に差し込んで下さい。



アドバイス

専用あて板をつくと簡単に位置合わせ出来ます。
ジョイント材の半端材で、35mmに縦線を引きます。
あて板を差し込み、柱端部と35mm線を合わせます。

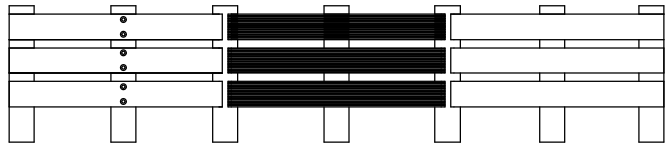
35

50

縦線

ジョイント材半端材

板の取付方・・・2スパン目以降



1、1スパン目と同様に、板を入れ、ビスをとめます。

注：1スパン目の、板中間柱ビスどめが完了してから、板を入れて下さい。

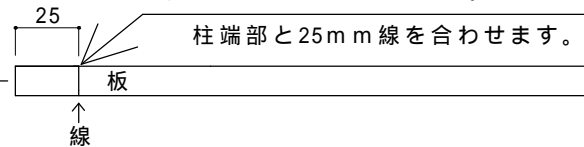
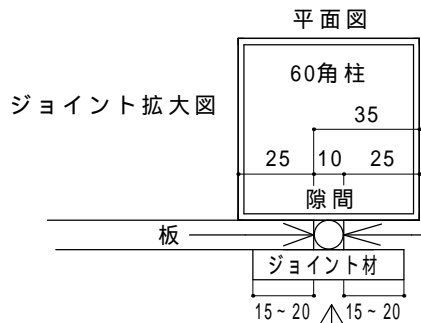
2、3スパン目以降も同様に施工します。

端部柱・コーナー柱の板納まりは、次ページを参考にして下さい。

アドバイス

板を差し込む前に、板端部より25mm位置へ線を引くと簡単に位置合わせ出来ます。

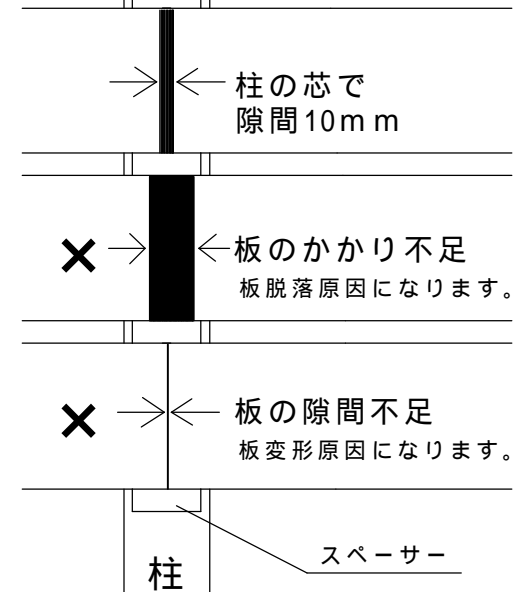
柱端部と25mm線を合わせます。



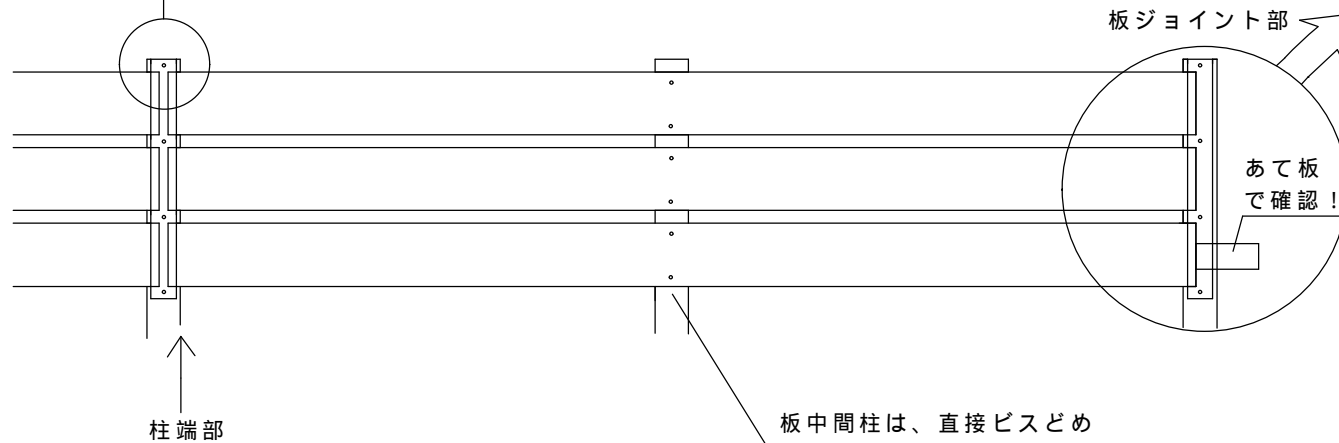
板ジョイント部の注意

板の「隙間」と「かかり」注意して下さい。
板長い場合は、切り詰めして下さい。

拡大図



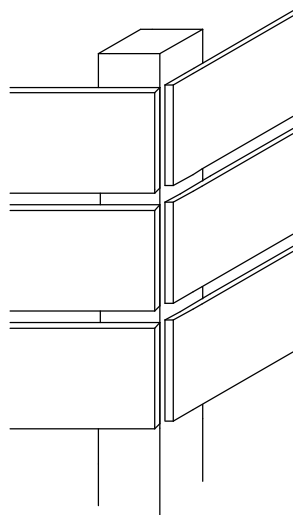
立面図



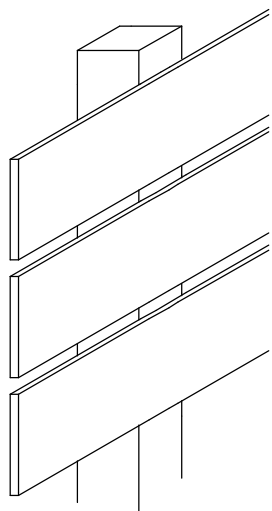
板中間柱は、直接ビスどめ
下穴をあけてから4×35ビス

板材の端部納まり図

柱外面合わせ
端部及び
外張りコーナー
の板材納まり



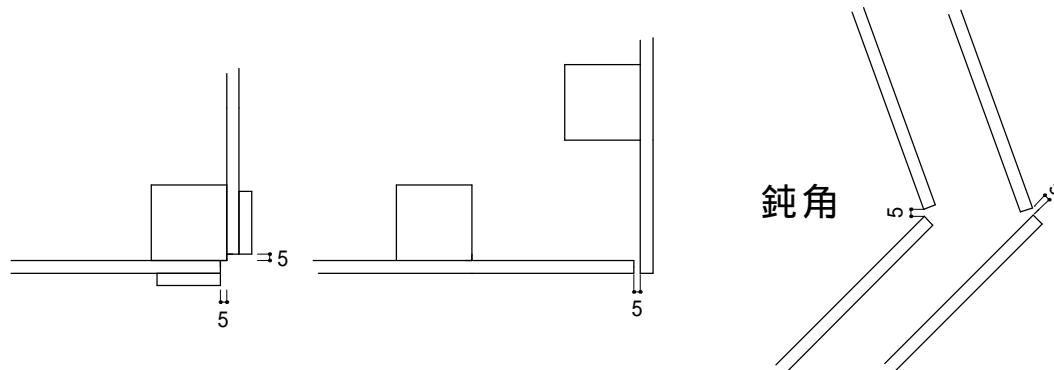
跳ね出し納まり
端部及び
内張りコーナー
の板材納まり



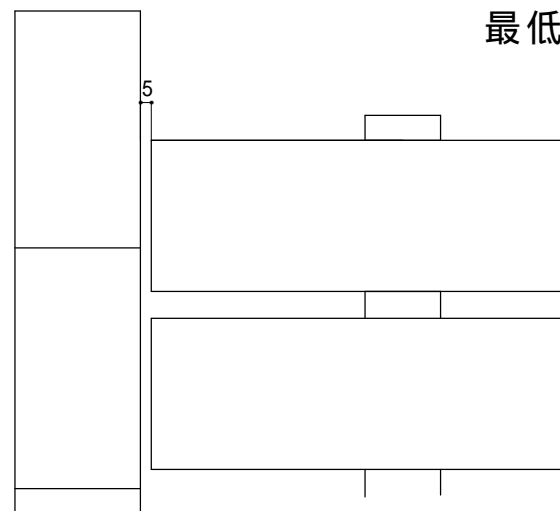
板の跳ね出しは、200mmくらいまでにして下さい。

コーナー部の参考納まり

板は温度上昇で伸びます。(2000mmの板で5mm前後)
板端部は、「伸び」を考慮して最低5mmはあけて下さい。



ブロック塀など、板の「伸び」に障害になるものも
最低5mmはあけて下さい。



【施工上の注意事項】

アーバンフェンスは目隠しフェンス用の部材です。強度が必要な防護柵や高所の手すり等には使用できません。

製品を危険と思われる場所や、緊急避難用通路の妨げになるような場所に設置しないでください。

アルミ材や製品の切り口には、バリが残る場合があります。手などに怪我をする可能性がありますので取扱いには注意して下さい。

施工後の残材は他の一般廃棄物と区別し、素材別に分別してから適切な処理をしてください。

風当たりの強い場所、積雪の多い場所や、地盤の弱い場所で施工する場合、控え柱等の補強が必要です。

風当たりの強い場所や施工フェンスの高さがある場合、アルミ柱上部での揺れ止め胴縁のご使用をお勧めします。(詳しくは営業担当者にご確認下さい)

アーバンフェンスは素材の特性上、温度差による伸縮があります。伸縮による板の反りや脱落を防ぐため、製品の組み立て・施工は必ず施工説明書に従って行ってください。

【ご使用上の注意事項】

本製品にぶらさがったり、のぼったりしないでください。

重たいものを立て掛けたり、一点に衝撃を加えると破損の原因になります。

汚れを落とす際には、製品表面に傷つかないように柔らかい布か、スポンジで水洗いして下さい。

汚れがひどく洗浄する場合には、家庭用中性洗剤を薄めて使用して下さい。

製品の近くで火気を使用しないでください。